



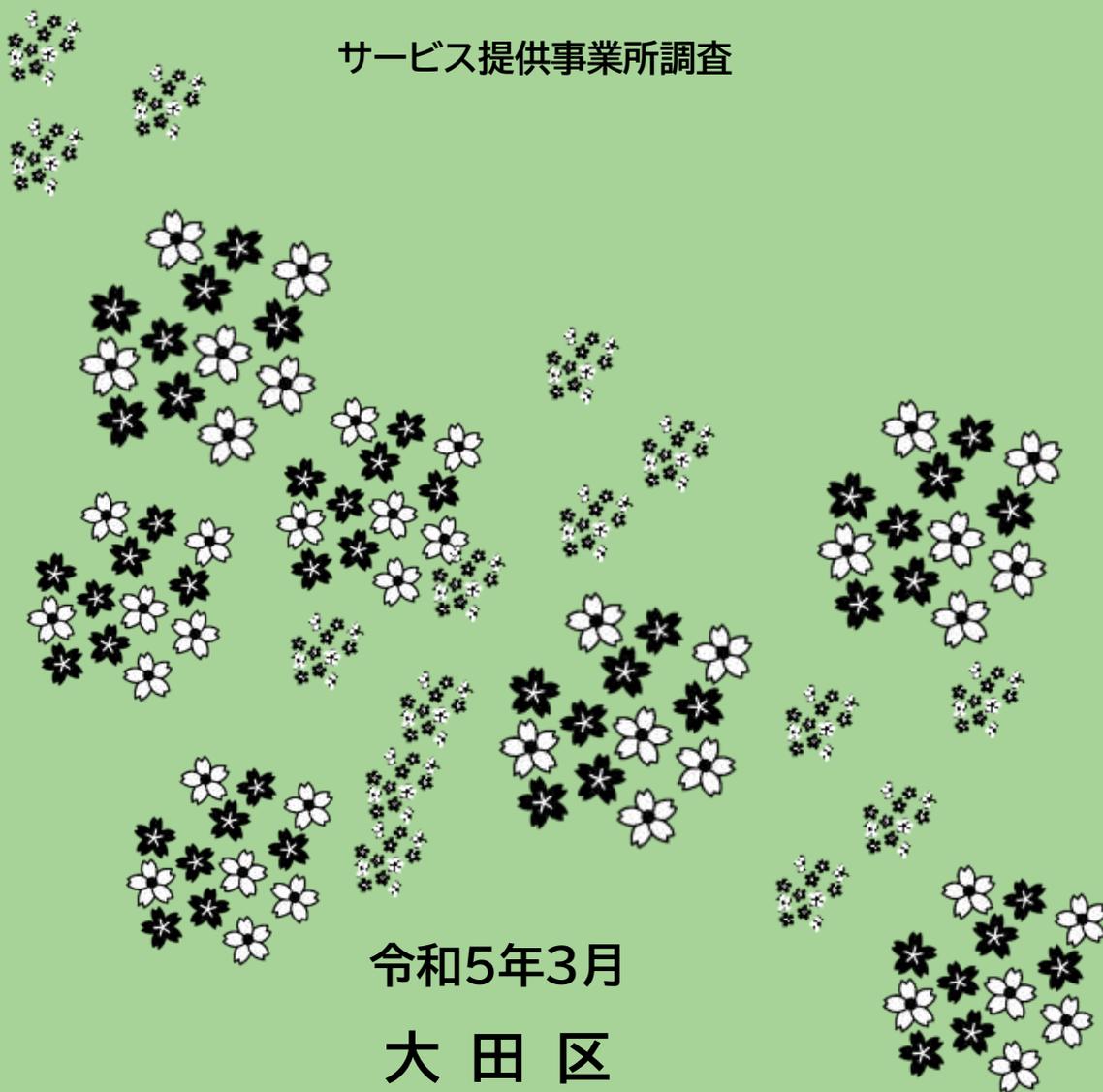
©大田区

# 令和4年度 大田区障がい者実態調査結果報告書 (医療的ケアに係る部分を抜粋)

18歳以上調査

18歳未満調査

サービス提供事業所調査



令和5年3月  
大田区

この冊子は音声コード付きです。  
右のマークが音声コードで、コードの位置を示すために切り込みを入れています。  
専用の読み上げ装置を使用して読み取ることで、音声で内容を聞き取ることができます。



## (1) 調査実施概要

### ア 調査対象

区内在住の障がい者、区内でサービスを提供している事業所を対象に調査を実施した。

#### ①18歳以上調査 抽出数

障がい種別		年齢層						抽出数 合計	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代		80代 以上
身体障害者手帳所持者	視覚障がい	35	38	58	77	75	59	58	400
	聴覚・平衡機能障がい	59	52	50	70	61	60	48	400
	音声・言語・そしゃく機能障がい	8	6	16	23	38	35	24	150
	肢体不自由	140	130	129	128	119	102	102	850
	内部障がい	94	98	90	90	84	72	72	600
愛の手帳所持者		139	119	125	110	105	90	12	700
精神障害者保健福祉手帳所持者		110	100	95	95	85	72	43	600
自立支援医療受給者証(精神通院)所持者		34	30	30	30	28	24	24	200
特定医療費受給者証所持者		100	92	90	90	84	72	72	600
合計								4,500	

※障がい種別及び年齢層ごとに抽出数を割り当てた上での無作為抽出

## ②18歳未満調査 抽出数

障害種別		抽出数
身体障害者手帳所持者	視覚障がい	17
	聴覚・平衡機能障がい	50
	音声・言語・そしゃく機能障がい	2
	肢体不自由	202
	内部障がい	69
愛の手帳所持者		680
精神障害者保健福祉手帳所持者		69
自立支援医療受給者証(精神通院)所持者		41
特定医療費受給者証所持者		20
通所受給者証所持者		350
合計		1,500

※障がい種別に抽出数を割り当てた上での無作為抽出

## ③サービス提供事業所調査 抽出数

事業所の種類	抽出数
指定障害福祉サービス事業者	153
指定障害者支援施設	2
指定一般・特定・障害児相談支援事業者	20
指定障害児通所支援事業者	25
合計	200

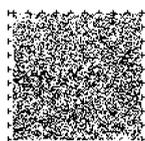
※事業所の種類ごとに抽出数を割り当てた上での無作為抽出

## イ 調査方法

郵送発送、郵送及びインターネットによる回答

## ウ 調査期間

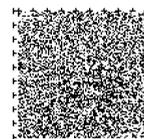
令和4年11月2日(水)～11月25日(金)



## (2) 回収結果

調査種別	有効調査数	有効回答数	無効回答数	回収率
①18歳以上調査	4,434 件	2,144 件	25 件	48.9 %
②18歳未満調査	1,483 件	713 件	6 件	48.5 %
③サービス提供事業所	199 件	136 件	2 件	69.3 %
合計	6,116 件	2,993 件	33 件	49.5 %

※6,200 件発送のうち、84 件が宛先不明。戻分は回収率算出の分母から除いている。



### (3) 項目別の大田区の課題

#### ア 障害児のサービス提供体制の計画的な構築

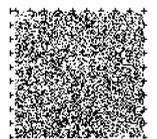
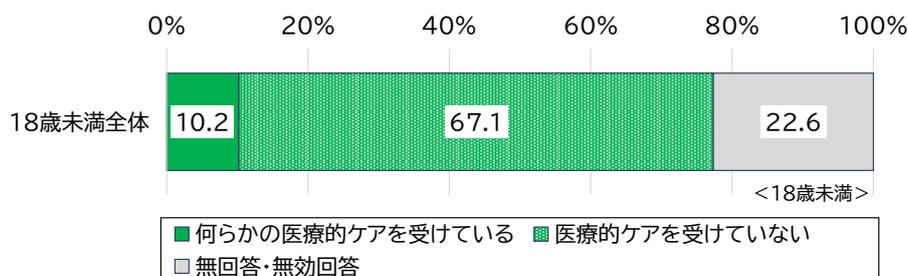
##### 実態調査から見える大田区の課題

- 1 障がい児に関する専門的な相談対応の充実や療育機関の受入れの充実が求められています。
- 2 医療的ケア児に対応できる人材を計画的に確保・育成していくことが求められています。

##### 【課題の背景】

- ① 18歳未満では、今後充実を希望する障がい施策について、「療育や教育の充実」が32.2%と最も高くなっています。【報告書 p166 参照】
- ② そして、障がいの早期発見・早期療育のために必要なこととして、「専門家による相談体制を充実させる」、「利用できるサービスについて、的確な情報を提供する」、「療育機関(わかばの家を含む)での受入れを充実させる」が上位を占めています。このことから、障がい児に関する専門的な相談対応の充実、計画相談の充実、療育機関の充実が重要であると言えます。【報告書 p184 参照】
- ③ 計画相談については、18歳未満の障害福祉サービス利用計画の作成者として、「家族」が51.2%と最も多く、「相談支援事業所」は33.0%でした。計画相談支援を利用しない理由としては、「自分で使うサービスは自分で決めたかったから(計画相談支援が必要だと思わなかったから)」が最も多くなっています。【報告書 p79～81 参照】
- ④ 18歳未満で何らかの医療的ケアを受けている方は10.3%となっていました。【報告書 p111 参照】 医療的ケアを受けている18歳未満の方のうち、サービス利用時に困ったこととして、「自分に合った事業者が見つからない」と回答した方は26.5%、「事業者から断られた」と回答した方は21.4%となっており、また事業者から断られた理由としては、44.7%の方が「医療的ケアが必要なため」と回答していました。【報告書 p73～p77 参照】
- ⑤ 一方サービス提供事業所では、医療的ケアを実施する上での課題として、46.3%の事業所が「医療的ケアに対応する人材(看護師等)の確保」を挙げています。これらの意見を踏まえ、医療的ケア児に対応できる人材を区として計画的に養成していくことが必要です。【報告書 p203 参照】

図表2-1 医療的ケアの有無(18歳未満)



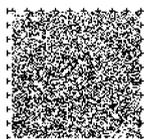
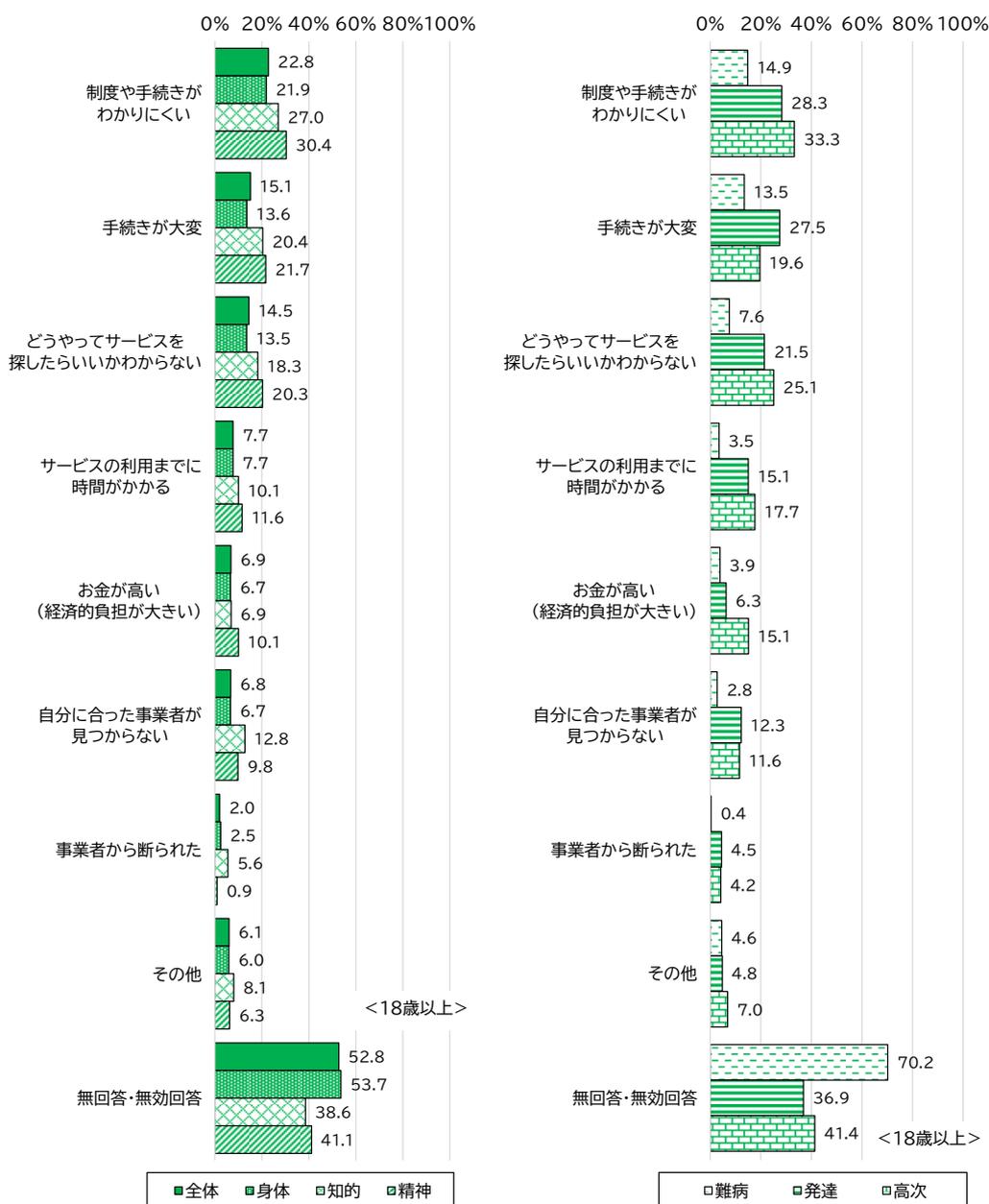
## イ サービス利用時に困ったこと

サービス利用時に困ったことについて、18歳以上の方全体では、「制度や手続きがわかりにくい」の回答が22.8%、「手続きが大変」の回答が15.1%、「どうやってサービスを探したらいいかわからない」の回答が14.5%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「制度や手続きがわかりにくい」、「どうやってサービスを探したらいいかわからない」、「サービスの利用までに時間がかかる」の回答が、[発達]において「手続きが大変」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問12\_1】あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(複数回答)

図表 2-2 サービス利用時に困ったこと(18歳以上)



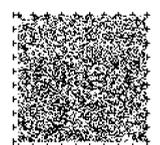
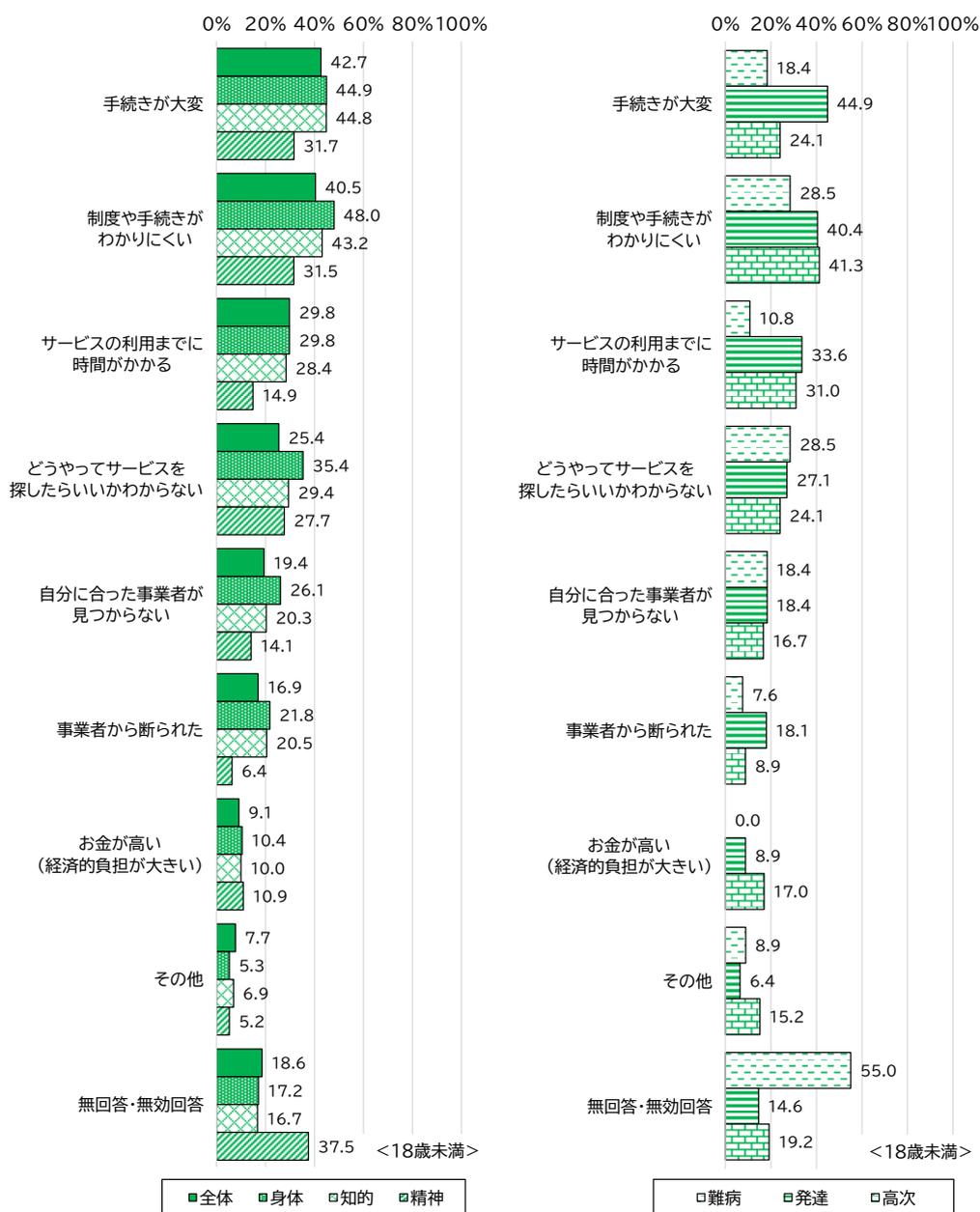
18歳未満の方全体では、「手続きが大変」の回答が42.7%と最も高く、次いで「制度や手続きがわかりにくい」の回答が40.5%、「サービスの利用までに時間がかかる」の回答が29.8%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「どうやってサービスを探したらいいかわからない」の回答が全体と比較して高くなっている。

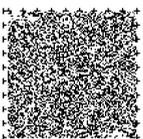
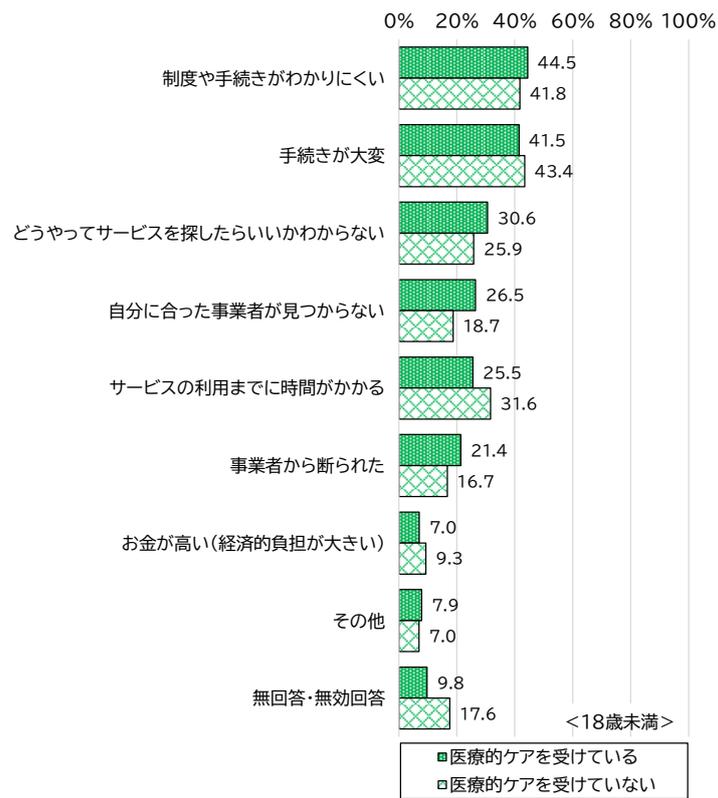
医療的ケアを受けている方では、「制度や手続きがわかりにくい」の回答が44.5%と最も高く、次いで「手続きが大変」の回答が41.5%、「どうやってサービスを探したらいいかわからない」の回答が30.6%となっている。

【18歳未満 問11\_1】あなたが、「障害福祉サービス等」を使いたいと思ったときに、困ったことはどのようなことですか。(複数回答)

図表 2-3 サービス利用時に困ったこと(18歳未満)



図表 2-4 サービス利用時に困ったこと(18歳未満 医療的ケアの有無別)<sup>1</sup>



<sup>1</sup> 何らかの医療的ケアを受けていると回答した方及び医療的ケアを受けていない方について集計を行った。

## ウ サービス利用を事業者から断られた理由

サービス利用を事業者から断られた理由について、18歳以上の方全体では、「事業所が人材不足のため」の回答が45.9%と最も高く、次いで「利用日程が合わないため」の回答が32.1%、「すでに定員いっぱいであるため」の回答が19.9%となっている。

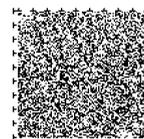
障がい種別に見ると、[知的]において「事業所が人材不足のため」、「利用日程が合わないため」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問12.2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

図表 2-5 サービス利用を事業者から断られた理由(18歳以上)<sup>2</sup>



<sup>2</sup> サービス利用時に困ったことについて、「事業者から断られた」と回答した方のみ集計対象。(18歳未満も同様)[精神]、[難病]、[発達]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。



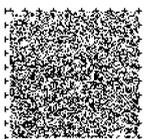
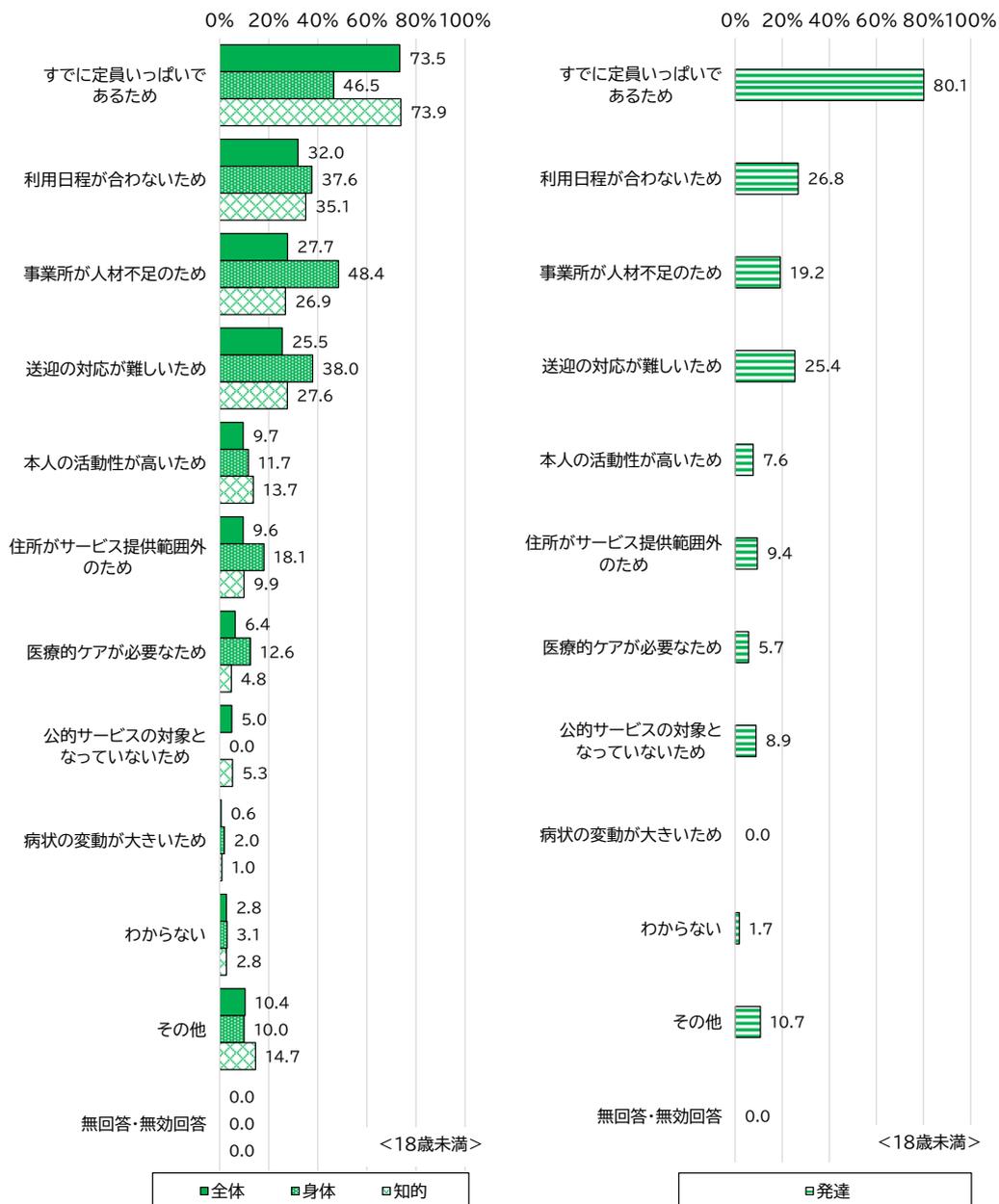
18歳未満の方全体では、「すでに定員いっぱいであるため」の回答が73.5%と最も高く、次いで「利用日程が合わないため」の回答が32.0%、「事業所が人材不足のため」の回答が27.7%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「事業所が人材不足のため」、「送迎の対応が難しいため」の回答が全体と比較して高くなっている。

また、**医療的ケア**を受けている方では、「**医療的ケアが必要なため**」の回答が44.7%と高くなっている。

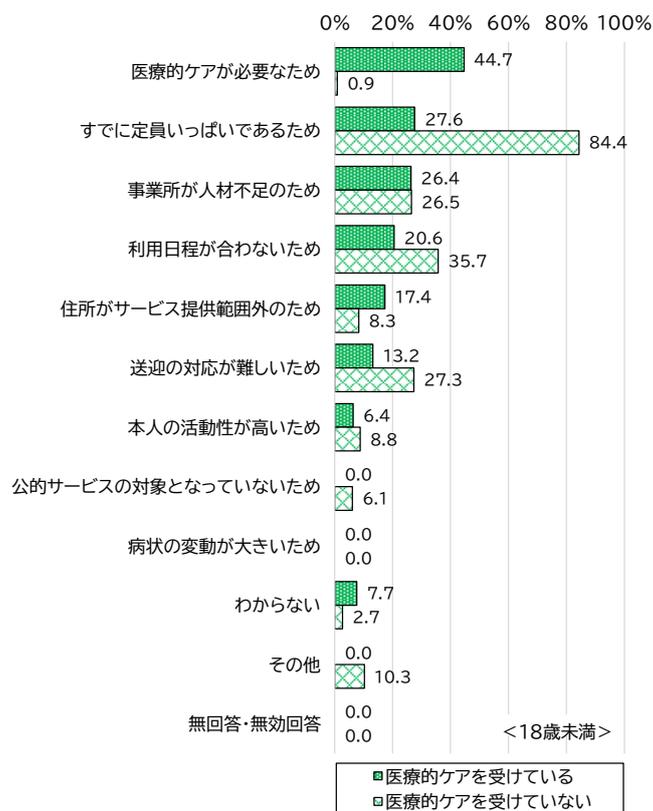
【18歳未満 問11\_2】事業者から断られた理由について、差し支えない範囲で教えてください。(複数回答)

図表 2-6 サービス利用を事業者から断られた理由(18歳未満)<sup>3</sup>

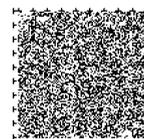


<sup>3</sup> [精神]、[難病]、[高次]においては、集計対象件数が10件未満と非常に少なくなっており、集計を行う上で精度を保てないため掲載を省略した。

図表 2-7 サービス利用を事業者から断られた理由(18歳未満 医療的ケアの有無別)<sup>4</sup>



<sup>4</sup> サービス利用時に困ったことについて、「事業者から断られた」と回答した方のうち、何らかの医療的ケアを受けていると回答した方及び医療的ケアを受けていない方について集計を行った。



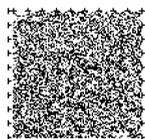
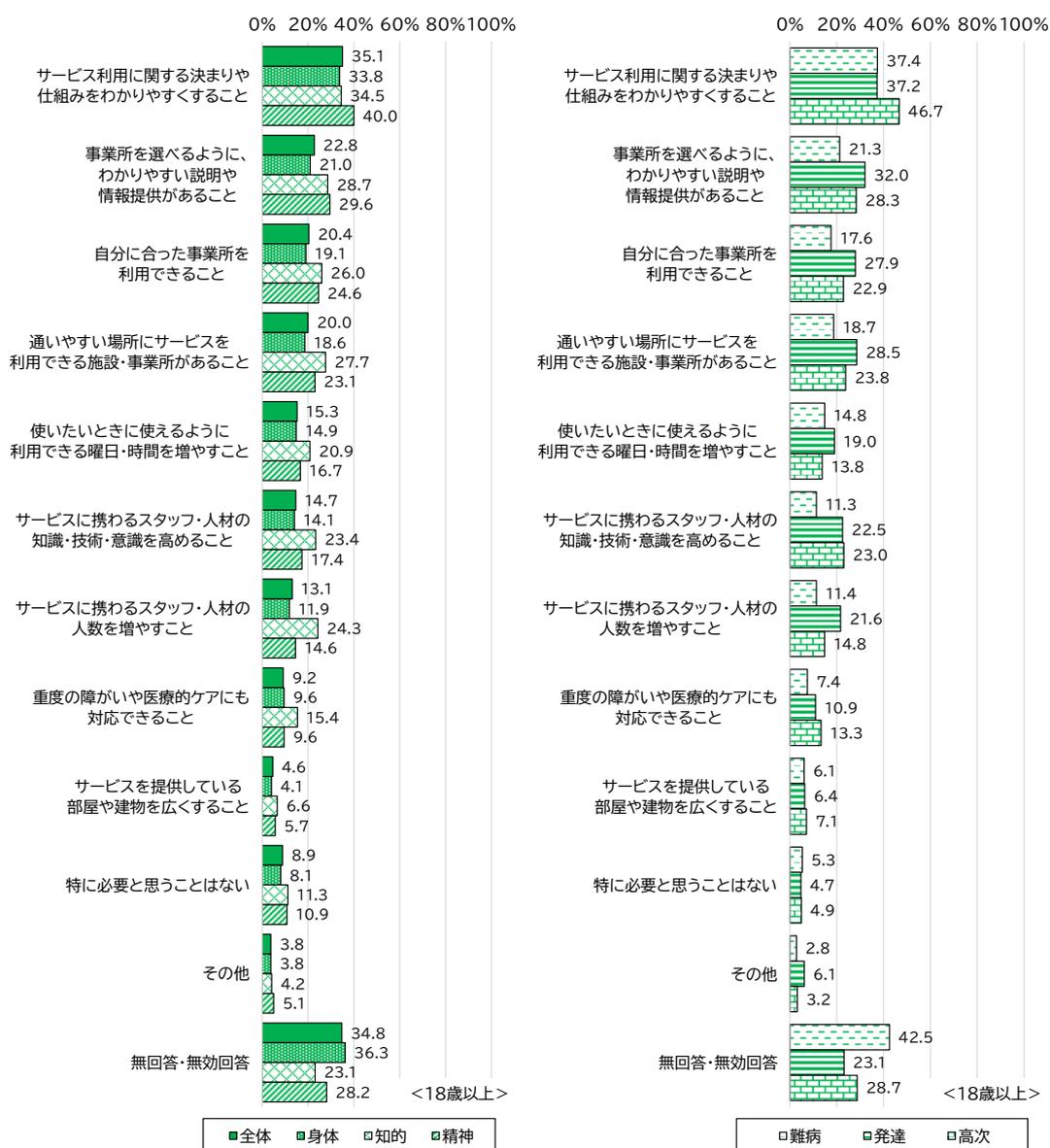
## エ サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと

サービスを利用しやすくするために必要だと思うことについて、18歳以上の方全体では、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」の回答が35.1%、「事業所を選べるように、わかりやすい説明や情報提供があること」の回答が22.8%、「自分に合った事業所を利用できること」の回答が20.4%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」の回答が、[知的]において「サービスに携わるスタッフ・人材の人数を増やすこと」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問14】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことを教えてください。(複数回答)

図表 2-8 サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと(18歳以上)

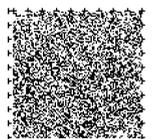
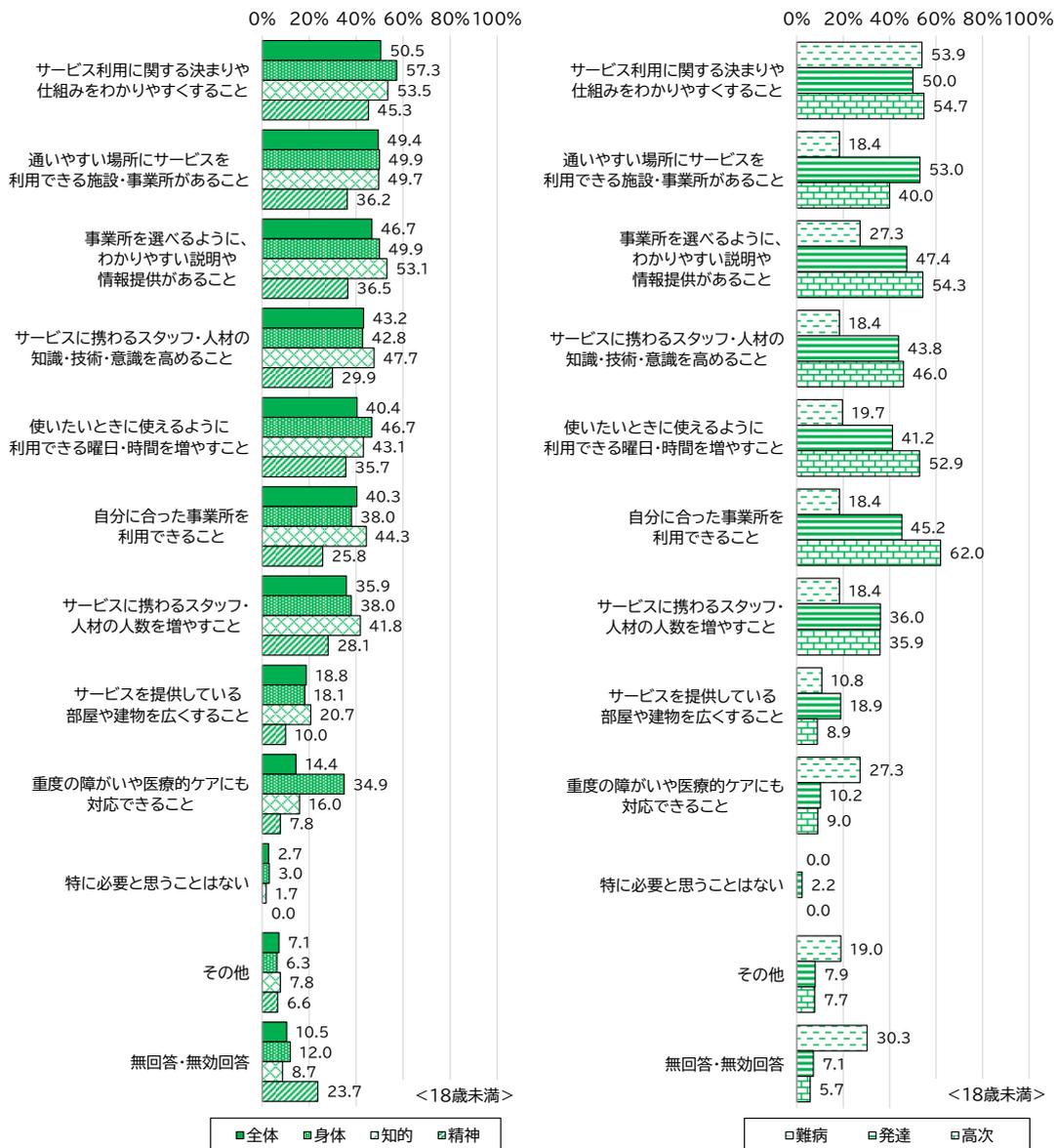


18歳未満の方全体では、「サービス利用に関する決まりや仕組みをわかりやすくすること」の回答が50.5%と最も高く、次いで「通いやすい場所にサービスを利用できる施設・事業所があること」の回答が49.4%、「事業所を選ぶように、わかりやすい説明や情報提供があること」の回答が46.7%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「使いたいときに使えるように利用できる曜日・時間を増やすこと」、「自分に合った事業所を利用できること」の回答が、[身体]、[難病]において「重度の障がいや医療的ケアにも対応できること」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問13】 サービスを利用しやすくするために必要だと思うことを教えてください。(複数回答)

図表 2-9 サービスを利用しやすくするために必要だと思うこと(18歳未満)



## (4) 保育・教育について

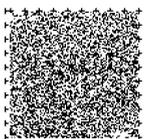
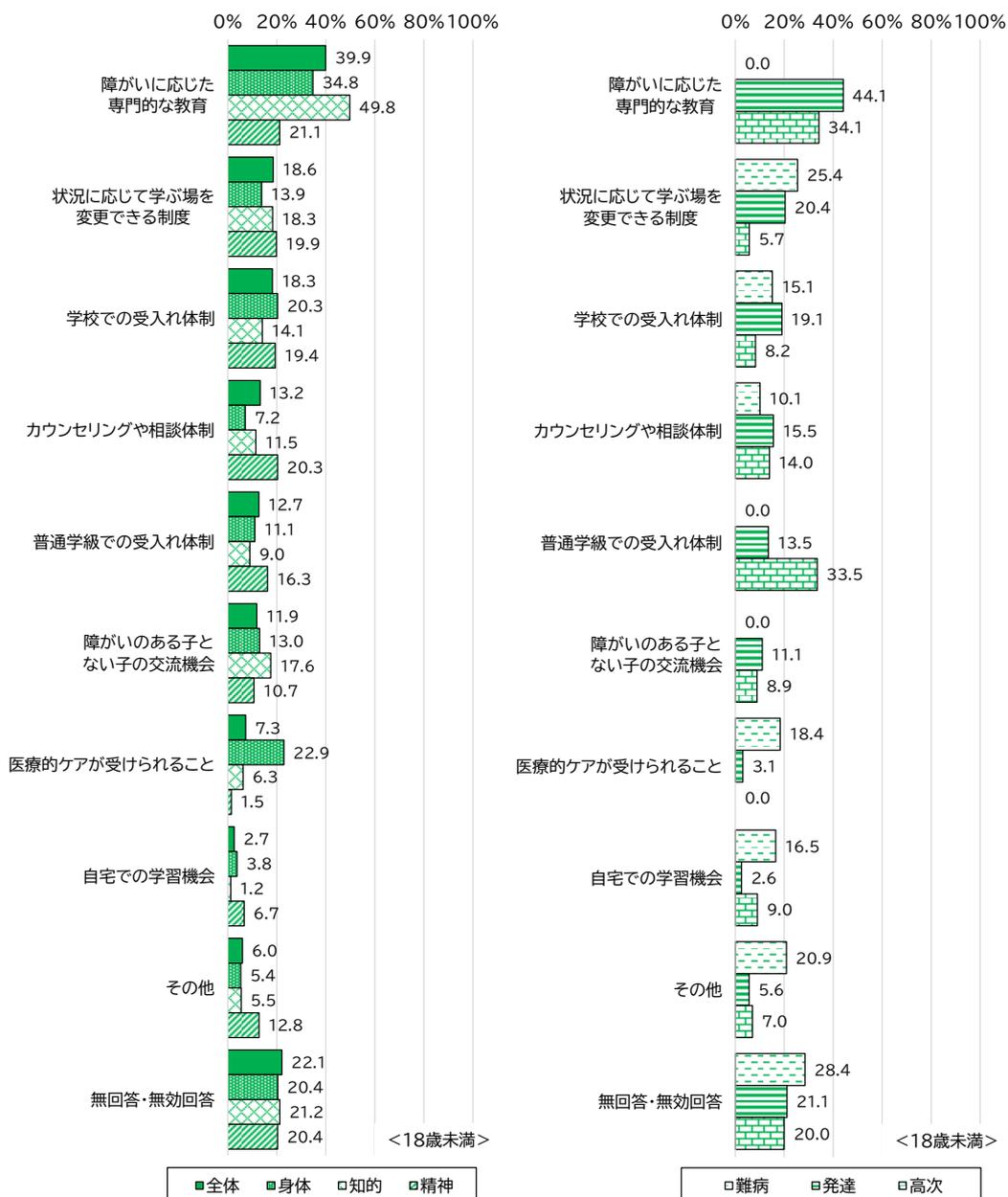
### ア 教育で充実してほしいこと

教育で充実してほしいことについて、18歳未満の方全体では、「障がいに応じた専門的な教育」の回答が39.9%と最も高く、次いで「状況に応じて学ぶ場を変更できる制度」の回答が18.6%、「学校での受入れ体制」の回答が18.3%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「普通学級での受入れ体制」の回答が、[身体]、[難病]において「医療的ケアが受けられること」の回答が、[難病]において「自宅での学習機会」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問17】あなたが、教育の場面において、特に充実させてほしいのはどのようなことですか。（2つまで回答）

図表 2-10 教育で充実してほしいこと(18歳未満)



## (5) 外出とバリアフリーについて

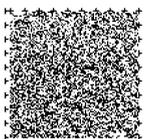
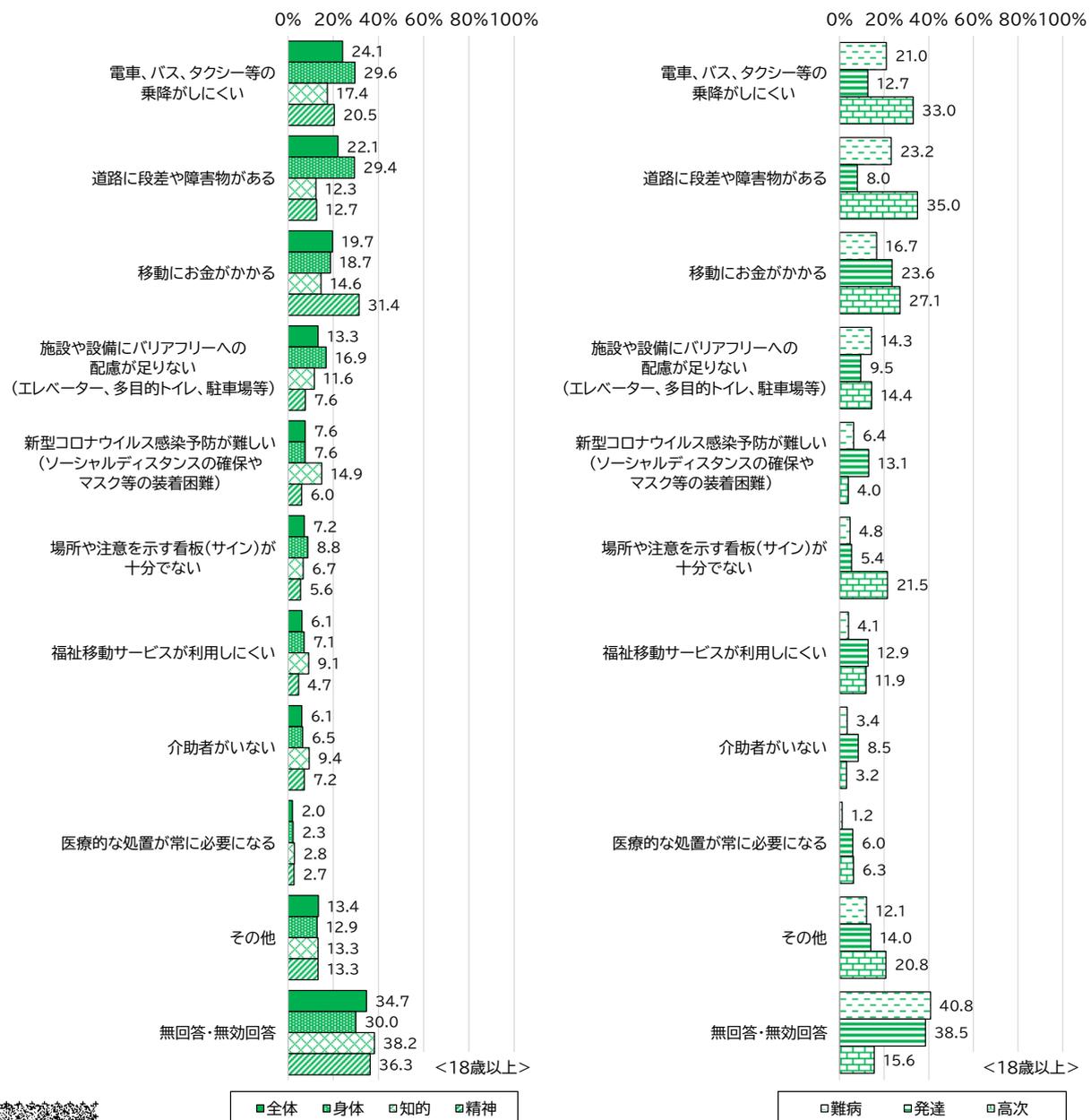
### ア 外出時の困りごと

外出時の困りごとについて、18歳以上の方全体では、「電車、バス、タクシー等の乗降がしにくい」の回答が24.1%と最も高く、次いで「道路に段差や障害物がある」の回答が22.1%、「移動にお金がかかる」の回答が19.7%となっている。

障がい種別に見ると、[高次]において「道路に段差や障害物がある」、「場所や注意を示す看板(サイン)が十分でない」の回答が、[精神]において「移動にお金がかかる」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳以上 問20】あなたが外出するときに、不便に感じたり困ったりすることはどういうことですか。  
(複数回答)

図表 2-11 外出時の困りごと(18歳以上)

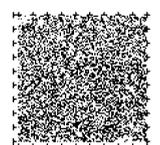
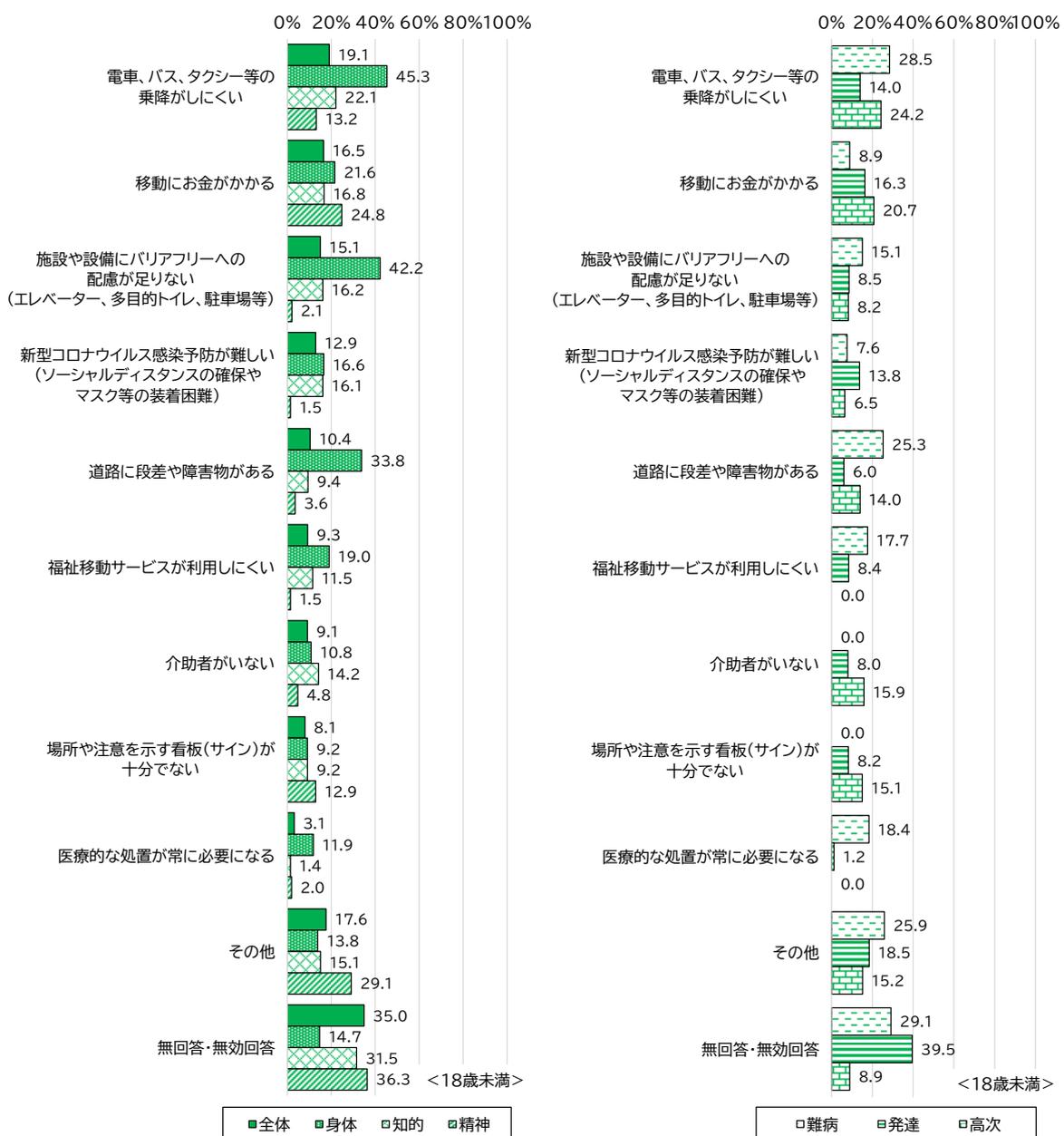


18歳未満の方全体では、「電車、バス、タクシー等の乗降がしにくい」の回答が19.1%と最も高く、「移動にお金がかかる」の回答が16.5%、「施設や設備にバリアフリーへの配慮が足りない(エレベーター、多目的トイレ、駐車場等)」の回答が15.1%となっている。

障がい種別に見ると、[身体]において「電車、バス、タクシー等の乗降がしにくい」、「施設や設備にバリアフリーへの配慮が足りない(エレベーター、多目的トイレ、駐車場等)」の回答が全体と比較して高くなっている。[身体]、[難病]において「道路に段差や障害物がある」の回答が、[難病]において「医療的な処置が常に必要になる」の回答が全体と比較して高くなっている。

【18歳未満 問20】あなたが外出するときに、不便に感じたり困ったりすることはどのようなことですか。  
(複数回答)

図表 2-12 外出時の困りごと(18歳未満)



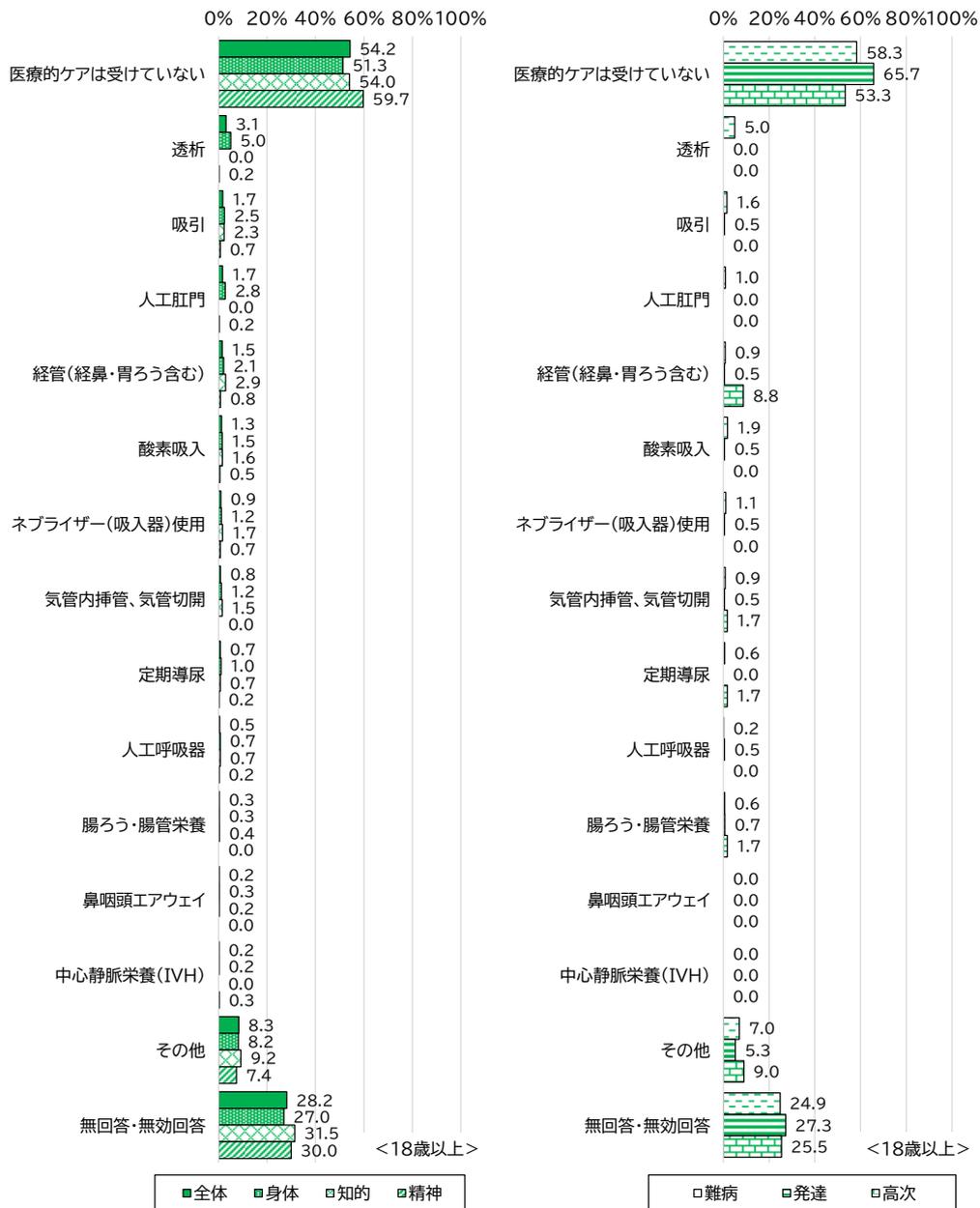
## (6) 保険・医療について

### ア 医療的ケアの有無

医療的ケアの有無について、18歳以上の方全体では、何らかの医療的ケアを受けている方の割合は、17.6%<sup>5</sup>となっている。受けている医療的ケアの種類については、「透析」、「吸引」、「人工肛門」、「経管(経鼻・胃ろう含む)」の順に割合が高くなっている。

【18歳以上 問23】あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。(複数回答)

図表 2-13 医療的ケアの有無(18歳以上)



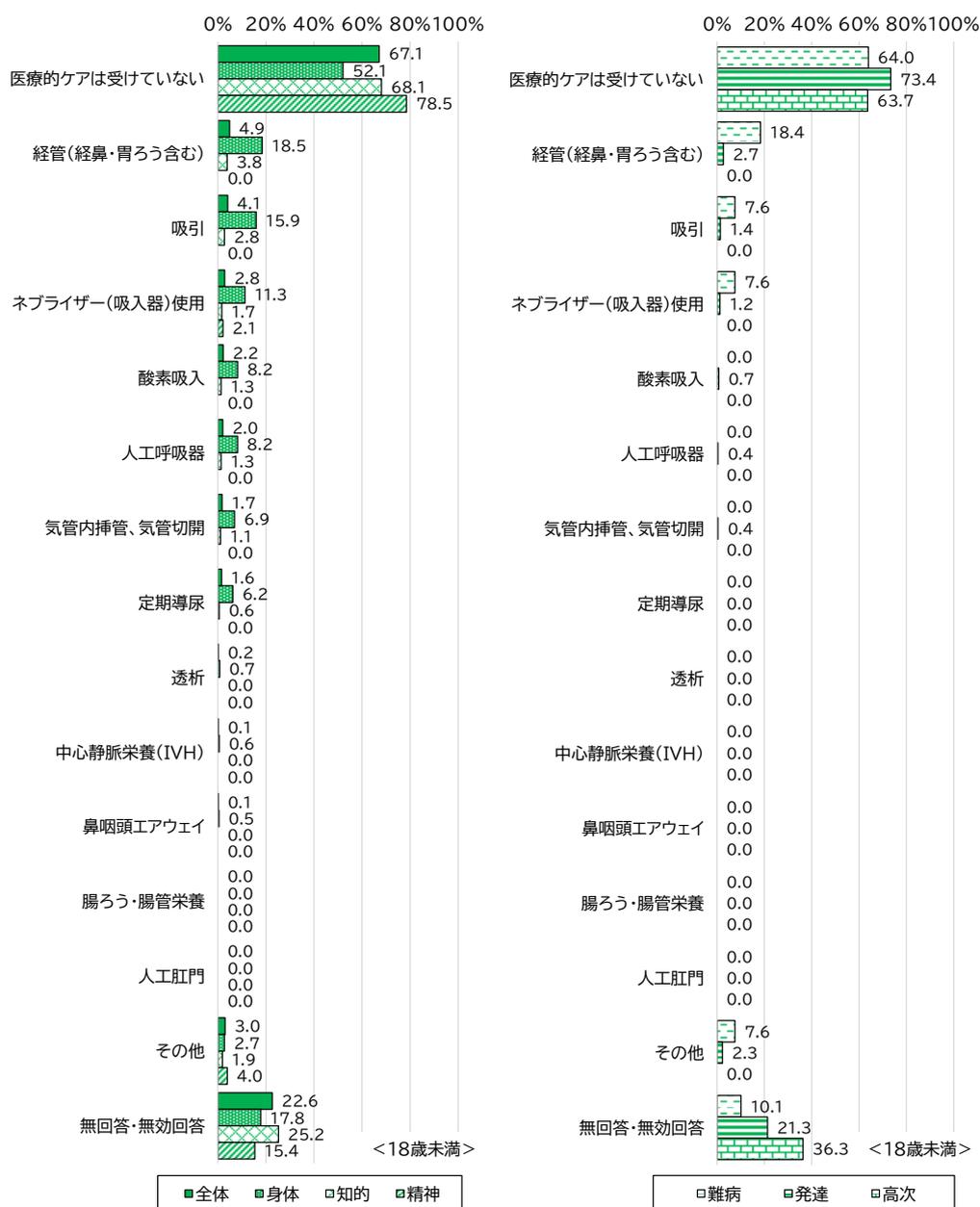
<sup>5</sup> 100%から、「医療的ケアは受けていない」の回答(54.2%)と「無回答・無効回答」(28.2%)を除いた割合。

18歳未満の方全体では、何らかの医療的ケアを受けている方の割合は、10.3%<sup>6</sup>となっている。受けている医療的ケアの種類については、「経管(経鼻・胃ろう含む)」、「吸引」、「ネブライザー(吸入器)使用」、「酸素吸入」、「人工呼吸器」の順に割合が高くなっている。

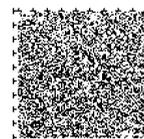
障がい種別に見ると、何らかの医療的ケアを受けている方の割合は、[身体]において30.1%、[難病]において25.9%と、全体と比較して高くなっている。また、医療的ケアの内容について、[身体]、[難病]において「経管(経鼻・胃ろう含む)」の回答が、[身体]において「吸引」の回答が全体と比較して高くなっている。

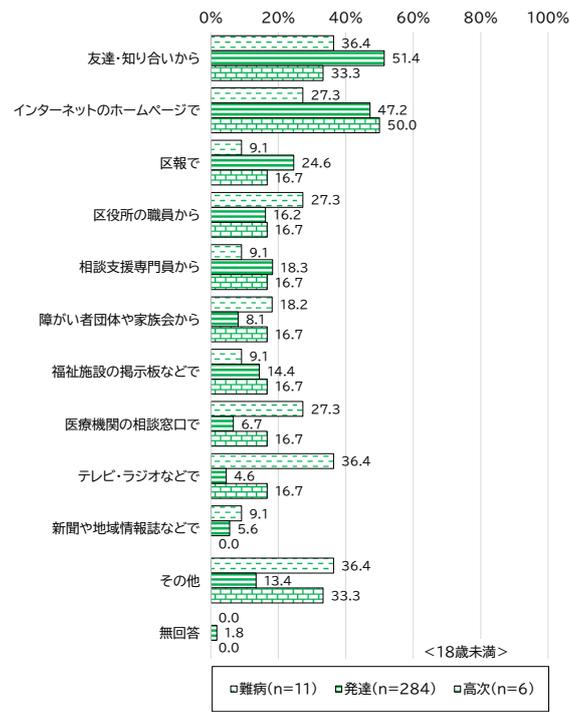
【18歳未満 問24】あなたは、どのような「医療的ケア」を受けていますか。(複数回答)

図表 2-14 医療的ケアの有無(18歳未満)



<sup>6</sup> 100%から、「医療的ケアは受けていない」の回答(67.1%)と「無回答・無効回答」(22.6%)を除いた割合。([身体]、[難病]においても同様に算出)





## 第2章 アンケート調査結果(サービス提供事業所)

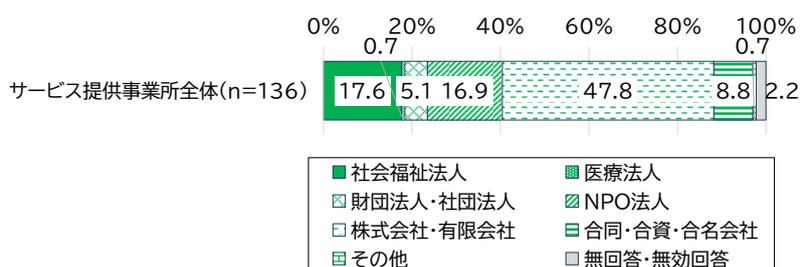
### (1) 事業所概要について

#### ア 法人種別

法人種別について、「株式会社・有限会社」の回答が 47.8%と最も高く、次いで「社会福祉法人」の回答が 17.6%、「NPO法人」の回答が 16.9%となっている。

【事業所 問1】 貴事業所の運営主体の法人種別をお答えください。(単一回答)

図表 2-1 法人種別(サービス提供事業所)



#### イ 職種別人員

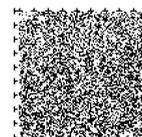
職種別人員(回答があった事業所の合計人数)について、常勤職員については「生活相談員・生活支援員」の方が最も多く 345 名、「介護職員」が 214 名となっている。非常勤職員については、「介護職員」が 648 名、「生活相談員・生活支援員」の方が 207 名となっている。

【事業所 問2】 貴事業所で働いている「常勤」と「非常勤」の方の、職種別人数をお書きください。(数値による回答)

図表 2-2 職種別人員(サービス提供事業所)<sup>7</sup>

サービス提供事業所全体(n=136)	常勤職員数(名)	非常勤職員数(名)
生活相談員・生活支援員	345	207
相談支援専門員	49	8
介護職員	214	648
介護補助員	13	77
看護師	33	26
栄養士	7	9
理学療法士	4	20
作業療法士	2	5
職業指導員	40	30
事務職員	50	35
その他	106	86

<sup>7</sup> 「回答事業所数」は、常勤、非常勤いずれかに回答があった事業所数。



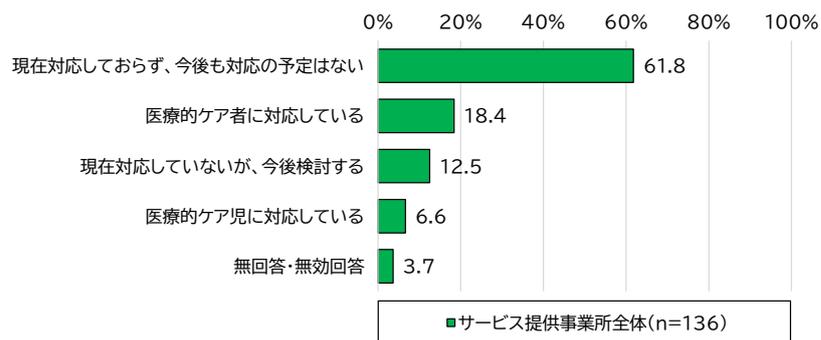
## (2) 提供サービスについて

### ア 医療的ケアへの対応状況

医療的ケアへの対応状況について、「現在対応しておらず、今後も対応の予定はない」の回答が 61.8%と最も高く、次いで「医療的ケア者に対応している」の回答が 18.4%、「現在対応していないが、今後検討する」の回答が 12.5%となっている。

【事業所 問 11\_1】 貴事業所では、「医療的ケア」に対応していますか。(複数回答)

図表 2-3 医療的ケアへの対応状況(サービス提供事業所)

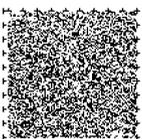


### イ 対応している医療的ケアの内容

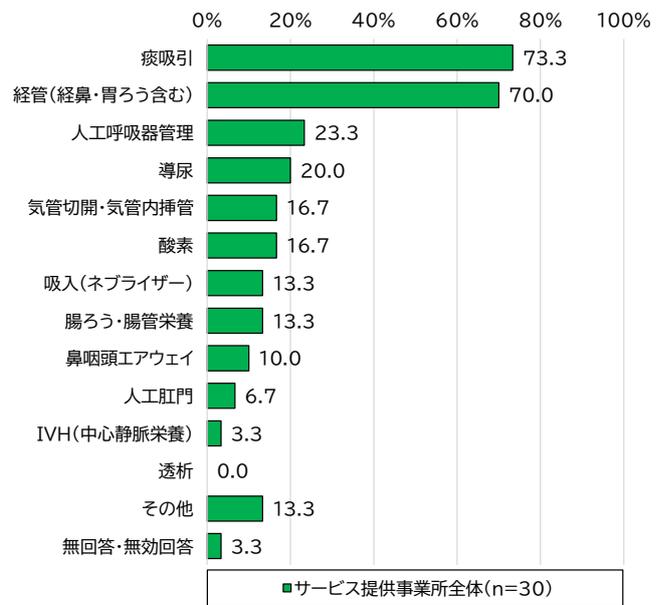
対応している医療的ケアの内容について、「痰吸引」の回答が 73.3%と最も高く、次いで「経管(経鼻・胃ろう含む)」の回答が 70.0%、「人工呼吸器管理」の回答が 23.3%となっている。

【事業所 問 11\_2】 対応している医療的ケアを教えてください。(複数回答)

図表 2-4 対応している医療的ケアの内容(サービス提供事業所)<sup>8</sup>



<sup>8</sup> 医療的ケアへの対応状況について、「医療的ケア者に対応している」、あるいは「医療的ケア児に対応している」と回答した事業所のみ集計対象。

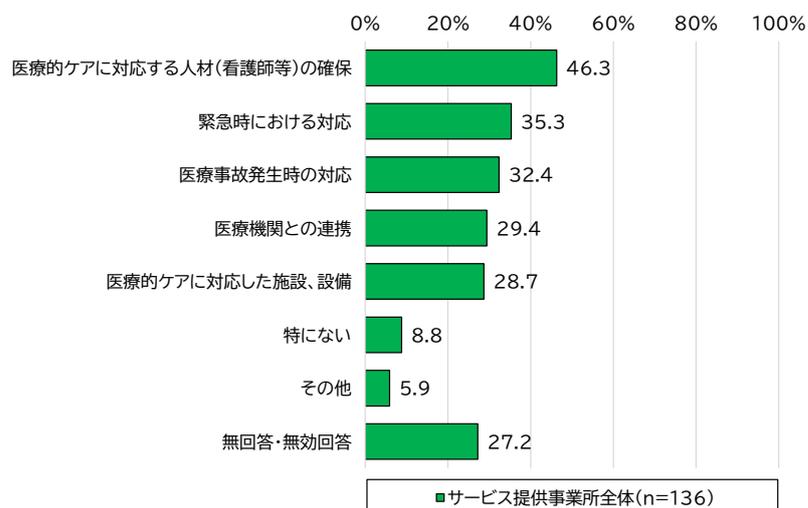


## ウ 医療的ケアを実施する上での課題

医療的ケアを実施する上での課題について、「医療的ケアに対応する人材(看護師等)の確保」の回答が46.3%と最も高く、次いで「緊急時における対応」の回答が35.3%、「医療事故発生時の対応」の回答が32.4%となっている。

【事業所 問 11\_3】 貴事業所で医療的ケアを実施するにあたって、課題はありますか。(複数回答)

図表 2-5 医療的ケアを実施する上での課題(サービス提供事業所)

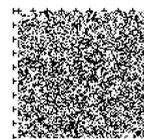
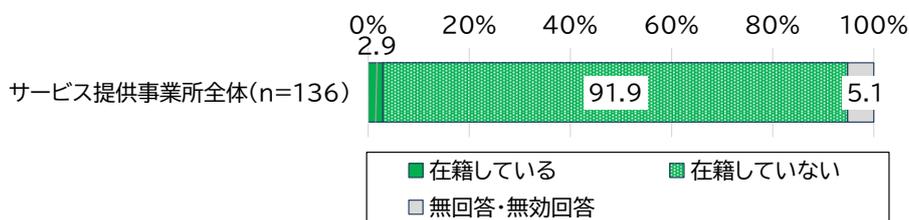


## エ 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者について、「在籍していない」の回答が91.9%と最も高く、「在籍している」の回答が2.9%となっている。

【事業所 問 12\_1】 貴事業所では、東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者が在籍していますか。(単一回答)

図表 2-6 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者(サービス提供事業所)

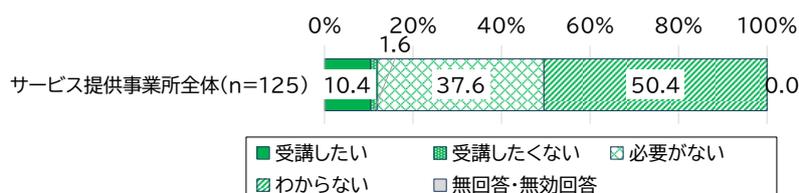


## オ 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講意向

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講意向について、「わからない」の回答が 50.4%と最も高く、次いで「必要がない」の回答が 37.6%、「受講したい」の回答が 10.4%となっている。

【事業所 問 12\_2】 今後、貴事業所における東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講意向について教えてください。(単一回答)

図表 2-7 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講意向(サービス提供事業所)<sup>9</sup>



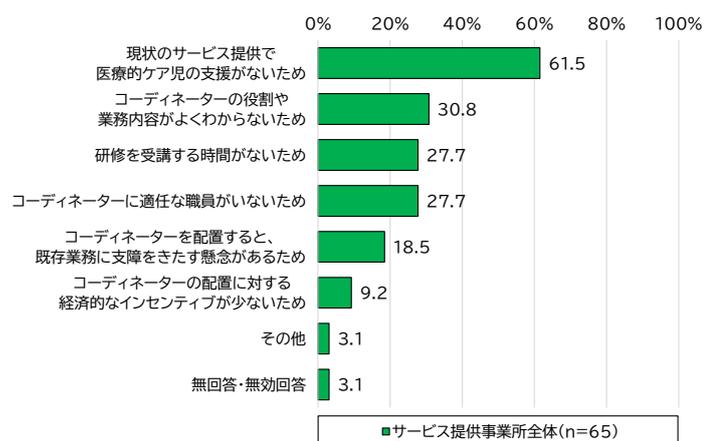
## カ 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由

東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由について、「現状のサービス提供で医療的ケア児の支援がないため」の回答が 61.5%と最も高く、次いで「コーディネーターの役割や業務内容がよくわからないため」の回答が 30.8%、「研修を受講する時間がないため」、「コーディネーターに適任な職員がないため」の回答が 27.7%となっている。

【事業所 問 12\_3】 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由について教えてください。(複数回答)

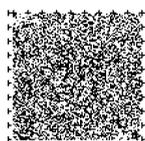
図表 2-8 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講に前向きでない理由

(サービス提供事業所)<sup>10</sup>



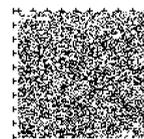
<sup>9</sup> 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修修了者について、「在籍していない」と回答した事業所のみ集計対象。

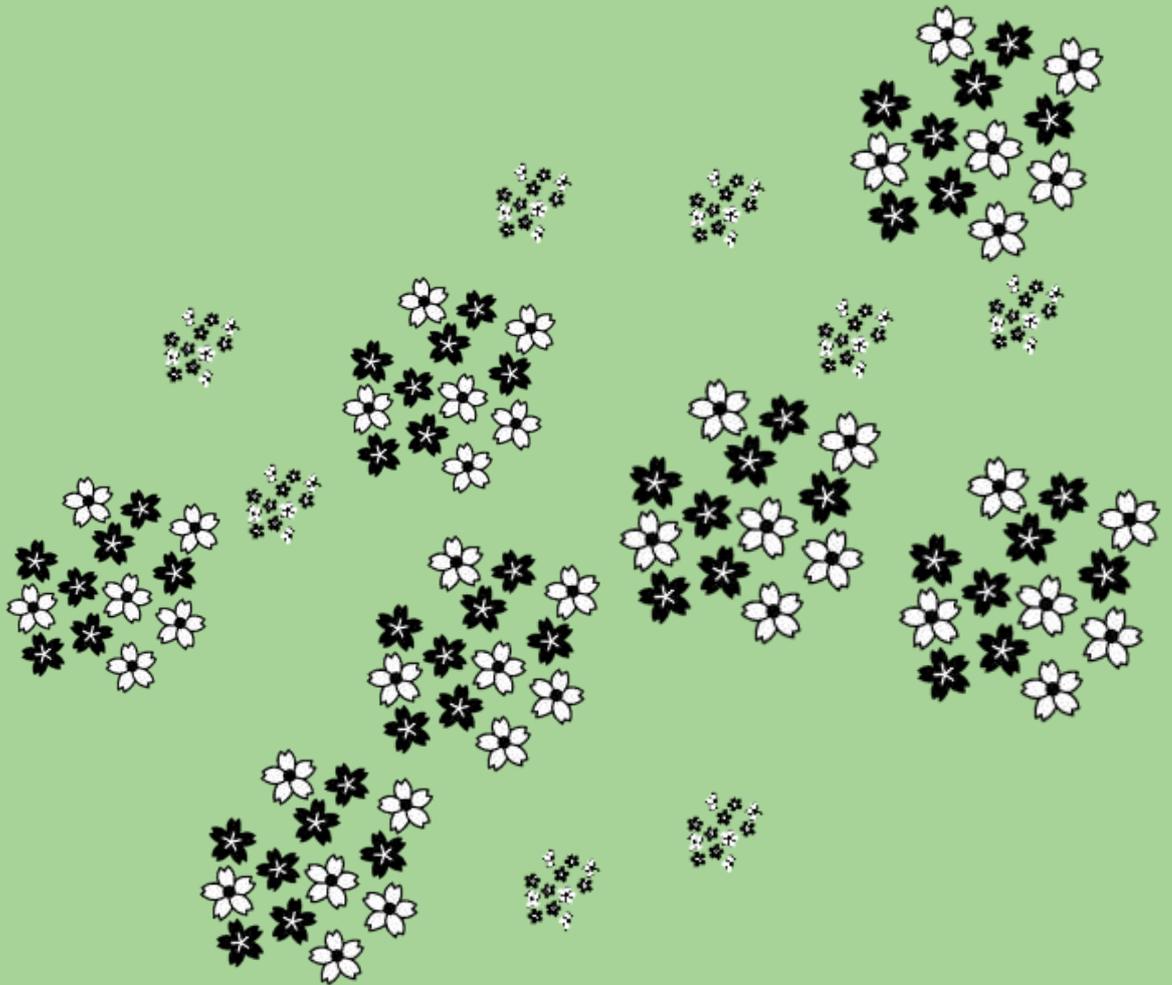
<sup>10</sup> 東京都医療的ケア児コーディネーター養成研修の受講意向について、「受講したくない」、あるいは「わからない」と回答した事業所のみ集計対象。



令和4年度  
大田区障がい者実態調査結果報告書

発行年月 令和5年3月  
発行 大田区 福祉部 障害福祉課  
〒144-8621 大田区蒲田 5-13-14  
電話番号 03-5744-1700  
FAX 番号 03-5744-1592





大田区